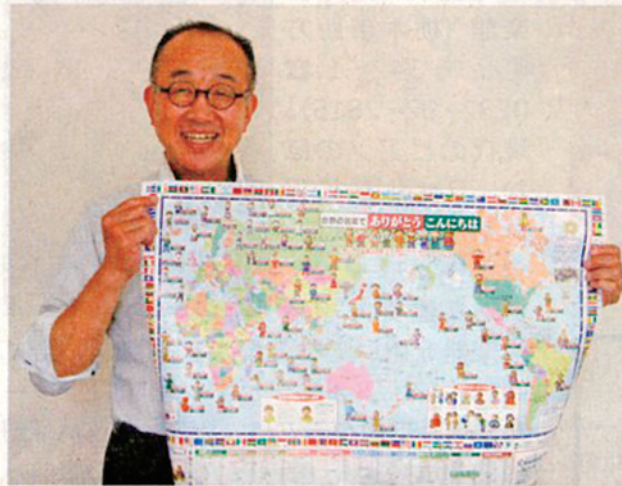


地図で世界知って

鹿沼の地元小学生に2500部
晃南印刷



「世界的視野に立てる子どもに育って」と
世界地図を寄贈した阿部社長

鹿沼市緑町の晃南印刷は、創業80年の感謝を込めて地元小学5、6年生に世界地図2500部を寄贈した。同社の阿部真一社長は「世界的視野に立って夢や希望を育んでいただきたい」と話し、今後も毎年、海外について学習が始まる

小学5年生を対象に地図の贈呈を続けていく意向だ。世界地図はカラー、B2大。8月開催のオリンピックに合わせ約70カ国の公用語で「こんにちは」「ありがとう」や国旗のほか、「世界に良い影響を与えている国」など、世界の中の日本

の位置付けが分かる順位表も載せた。

同社は昨年6月にも「社業を通じた社会貢献」を目指して東日本大震災復興支援コンサートを開催。約600人が集い、義援金も20万円が集まった。コンサートが縁で世界地図の収益で発展途上国への井戸掘り支援などを行っている愛媛県松山市の会社の取り組みを知り、趣旨に賛同。地図の発行、寄贈を思い立った。この取り組みで地図5千部以上注文で井戸一基が掘れる。同社は今回7千部を

購入・印刷したため、11月ごろにはカンボジアに一基の井戸が掘られる予定だ。同社は5月中旬にも那須烏山市荒川小特別支援の生

徒約20人にも世界地図を贈った。阿部社長は「協賛いただける方がいれば、宇都宮や日光の学校などにも配りたい」と話している。